

第 3 号様式（第 2 条関係）

建 築 物 設 計 書					
敷 地	敷地及びその周辺の現況				
	敷 地 の 面 積	平方メートル			
	敷地所有者の住所及び氏名				
	敷地内の木竹の有無及びその処理方法				
申 請 建 築 物	区 分	1 常設 地上 階 2 仮設 地下 階 年 月 日から 年 月 日まで			
	用 途	1 居住 2 店舗 3 その他（ ）			
	構 造	1 木造 2 鉄筋コンクリート造 3 鉄骨造 4 コンクリートブロック造 5 その他（ ）			
	工 事 種 別	1 新築 2 改築 3 増築 4 移転			
	屋根材料及び仕上材料		外壁材料及び仕上材料		
	屋 根 の 色 彩		外 壁 の 色 彩		
	建 ぺ い 率	パーセント	既存の建築物	種 類	
				構 造	
				建 築 面 積	平方メートル
				建 築 物 の 高 さ	メートル
	外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの最短距離	道路に接する部分		メートル	
		その他に接する部分		メートル	
	備 考				

（注）

- 「敷地及びその周辺の現況」の欄は、木竹の疎密程度、傾斜の有無、高低等について記入すること。
- 「用途」、「構造」及び「工事種別」の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 「敷地内の木竹の有無及びその処理方法」の欄は、木竹がある場合はその種類、樹齢及び本数並びにその処理方法（移植又は伐採）を記入すること。

第 4 号様式（第 2 条関係）

工 作 物 設 計 書				
敷 地	敷地及びその 周辺の現況			
	敷 地 の 面 積	平方メートル		
	敷地所有者の 住所及び氏名			
	敷地内の木竹 の有無及びそ の処理方法			
申 請 工 作 物	区 分	1 常設	2 仮設	年 月 日から 年 月 日まで
	用 途			
	工 事 種 別	1 新築	2 改築	3 増築 4 移転
	建 築 面 積	平方メートル		
	構 造			
	意 匠			
	工作物の高さ	メートル	既存の工作 物の高さ	メートル
備 考				

（注）

- 1 この様式は、建築物以外の工作物について用いること。
- 2 「工事種別」の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 3 「敷地内の木竹の有無及びその処理方法」の欄は、木竹がある場合はその種類、樹齢及び本数並びにその処理方法（移植又は伐採）を記入すること。
- 4 「意匠」の欄は、模様、配色等について記入すること。

第5号様式（第2条関係）

宅 地 の 造 成 等 設 計 書			
区 分		1 宅地の造成 2 土地の開墾 3 その他（ ）	
施行地及びその 周辺の現況			
工 事	概 要		
	総 面 積	平方メートル	
	施行地の面積	平方メートル	
	切土又は盛土	最高ののり高さ	メートル
		のり面処理方法	
木竹の有無及び その処理方法			
緑 地 率		特 例 の 適 用 有 ・ 無	パーセント
備 考			

(注)

- 「区分」の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 「施行地及びその周辺の現況」の欄は、木竹の疎密程度、傾斜の有無、高低等について記入すること。
- 「木竹の有無及びその処理方法」の欄は、木竹がある場合はその種類、樹齢及び本数並びにその処理方法（移植又は伐採）を記入すること。
- 「備考」の欄は、風致の維持のために行う措置等について記入すること。

第 6 号様式（第 2 条関係）

木 竹 伐 採 設 計 書	
区 分	1 条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 3 号に掲げる行為 2 森林の択伐 3 森林の皆伐
施行地及びその 周辺の現況	
伐 採 す る 木 竹	種 類
	樹 齢
	伐 採 本 数
	伐 採 方 法
	伐 採 面 積
伐採跡地の処理 方法	
備 考	

(注)

- 1 「区分」の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 2 「施行地及びその周辺の現況」の欄は、木竹の疎密程度、傾斜の有無、高低等について記入すること。
- 3 「備考」の欄は、風致の維持のために行う措置等について記入すること。

第 7 号様式（第 2 条関係）

土 石 の 類 の 採 取 設 計 書		
採 取 物 件 名		1 土 2 石 3 砂
採取地及びその周辺の現況		
採 取	採 取 量	立方メートル
	採 取 方 法	1 露天掘り 2 その他（ ）
	施行地の面積	平方メートル
採取跡地の処理方法		
木竹の有無及びその処理方法		
備 考		

（注）

- 1 「採取物件名」及び「採取方法」の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 2 「採取地及びその周辺の現況」の欄は、木竹の疎密程度、傾斜の有無、高低等について記入すること。
- 3 「木竹の有無及びその処理方法」の欄は、木竹がある場合はその種類、樹齢及び本数並びにその処理方法（移植又は伐採）を記入すること。
- 4 「備考」の欄は、風致の維持のために行う措置等について記入すること。

第 8 号様式（第 2 条関係）

水 面 の 埋 立 て （ 干 拓 ） 設 計 書		
区 分	1 水面埋立 2 干拓	
用 途	1 宅地 2 農地 3 その他（ ）	
施行地及びその 周辺の現況		
工 事	概 要	
	総 面 積	平方メートル
	施行地の面積	平方メートル
木竹の有無及び その処理方法		
備 考		

（注）

- 1 「区分」及び「用途」の欄は、該当するものを○で囲むこと。
- 2 「施行地及びその周辺の現況」の欄は、木竹の疎密程度、傾斜の有無、高低等について記入すること。
- 3 「木竹の有無及びその処理方法」の欄は、木竹がある場合はその種類、樹齢及び本数並びにその処理方法（移植又は伐採）を記入すること。
- 4 「備考」の欄は、風致の維持のために行う措置等について記入すること。

第 9 号様式（第 2 条関係）

屋外における土石、廃棄物又は再生資源のたい積設計書		
た い 積 物 件 名		
たい積地及びその周辺の現況		
た い 積	た い 積 量	立方メートル
	たい積の面積	平方メートル
	たい積の高さ	メートル
木竹の有無及びその処理方法		
備 考		

(注)

- 1 「たい積地及びその周辺の現況」の欄は、木竹の疎密程度、傾斜の有無、高低等について記入すること。
- 2 「木竹の有無及びその処理方法」の欄は、木竹がある場合はその種類、樹齢及び本数並びにその処理方法（移植又は伐採）を記入すること。
- 3 「備考」の欄は、風致の維持のために行う措置等について記入すること。